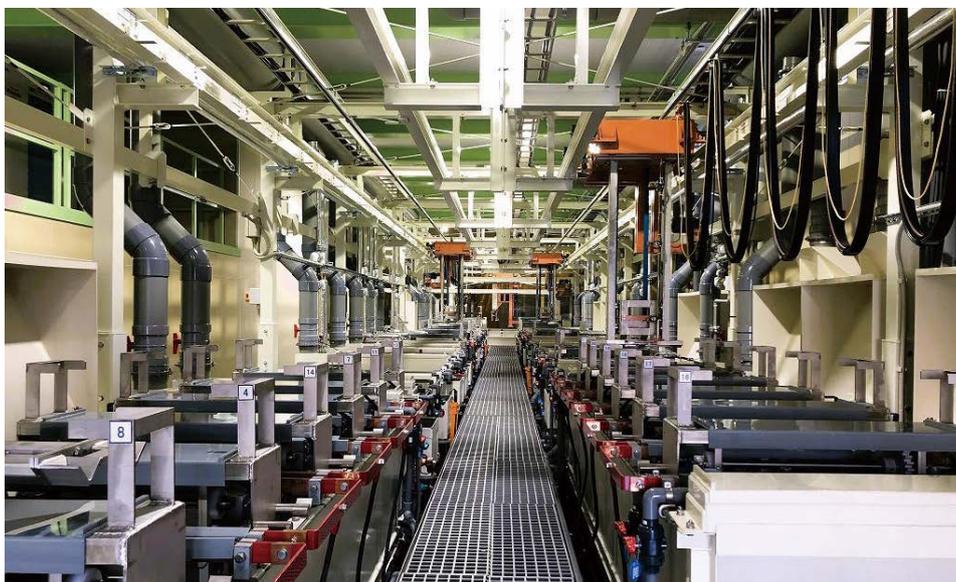


株式会社 コダマ

幅広いめっき技術を揃えて
顧客が求める機能を提供

オンライン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



巽中工場(大阪市生野区)の自動めっき加工ライン

主な事業内容

電気めっき加工

主な取引先(納入先)

自動車・半導体・建築関連の
各メーカー、大学や研究機関

主な製品

車載部品、電力関連製品、金型、
防衛装備品、半導体関連製品業務
内容
車載部品や発電関連
製品などを加工

コダマは、素材表面に金や銀、すずなどの薄膜を形成するめっき加工の専門業者。充電端子やリチウムイオン電池端子などの車載製品を中心に、受変電設備で使用する接続端子や金型、工具など幅広い製品の加工を請け負う。社内には特級めっき技能士2名、一級めっき技能士5名など、専門知識や技能を持つスタッフが在籍し、全国めっき技術コンクールで最上位となった技能士も活躍している。

昭和35年に創業し、建築金物などの装飾めっきを長年手がけてきた。平成に入った段階で生産体制を一新し、めっき被膜の特性を素材に付与し、加工品の機能や価値を向上する機能めっきを主力とする会社へと転換した。

強み
12種類の機能めっきと
精密部分めっき

めっき被膜に求められる特性は導電性や耐薬品性、耐摩耗性、耐熱性など様々。金や銀、すずのほか、銅、無電解ニッケルなど12種類の機能めっき加工技術を揃え、顧客の要望にきめ細かく応えている。また、基板に回路パターンや配線を形成

する精密部分めっきや、熟練技術者が手作業で行う樹脂コーティングによる部分めっきも得意とする。

令和2年に巽中工場(大阪市生野区)が完成し、令和4年には最新的大型自動めっきラインも稼働した。

本社工場では一人の技術者が全工程を担当するセル生産方式を採用。「試作品1個から量産品まで幅広い対応力がある」と児玉益子社長は胸を張る。

女性活躍
育児などの相談窓口や
短時間勤務制を導入

児玉社長は、平成22年に創業者の昌弘氏から経営トップを引き継ぎ、新卒採用や人材育成に力を入れてきた。経営理念の実践をめざす「コダマ塾」や、技術や品質管理をテーマにした勉強会「めっき塾」などを通じて従業員の経営参加を促しつつ、価値観教育および技術の向上に努めている。

女性を積極的に採用し、全従業員のうち約30%を女性が占め、製造部門の検査工程は女性を中心となって活躍している。育児や復職に関する相談窓口の設置や、短時間勤務制度の導入など、女性の働きやすい環境を整備。「理工系女性人材の育成にも取り組む」と児玉社長はさらなる意気込みを見せる。

社長あいさつ

代表取締役
児玉 益子さん

働きやすい職場環境の実現をめざし、性別や年齢を問わず作業ができるよう、DX化にも注力しています。QRコード管理を導入したペーパーレス化の実現、生産管理・品質管理システムの一元管理システムを構築し、最新の全自動めっき装置も導入しました。めっき・表面処理を通じた社会貢献と健康・環境経営に取り組んでいきます。

主な保有設備

- 自動バレルめっき装置
木田精工製 1ライン
- 自動ラックめっき装置
加美機工製 1ライン
- 手動めっきライン 11ライン
- 卓上走査電子顕微鏡(SEM-EDX)
JCM-6000SEM-EDX
日本電子製 1台
- 蛍光X線膜厚測定器 XDAL-FD
フィッシャー・インストルメンツ製 2台



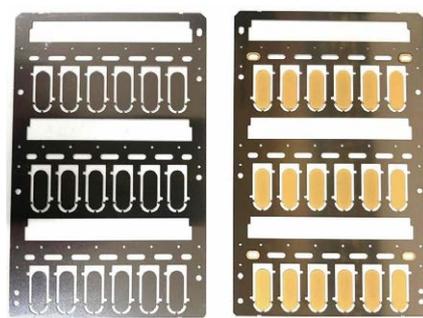
住 所 / 〒544-0012
大阪市生野区
巽西1-9-35

T E L / 06-6752-0001
F A X / 06-6752-0002

創 業 / 昭和35年4月
設 立 / 平成13年7月
資本金 / 3,000万円
従業員 / 51名



硬質クロムめっき加工製品



部分金めっき加工した基板(右)



<https://www.fm-007.com/>